

『温熱エネルギー革命を起こした国』デンマーク視察ツアー
(第4世代地域熱供給国際会議(4DH)の参加も兼ねて)

2019年3月12日

デンマーク大使館

環境エネルギー政策研究所

私たちが普段何気なく使っているエネルギー。その半分が暖房や給湯など温熱であることを意識している人はどれほどでしょうか？日本でも固定価格買取制度(FIT)が導入されてから、ようやく自然エネルギー発電が盛んになりましたが、温熱については一向に進展していません。

デンマークの自然エネルギーの躍進には、世界のパイオニアとして知られている風力発電だけでなく、地方分散型のいわゆる「地域熱供給」が大きな役割を果たしました。当初は燃料に石炭や国産の天然ガスを利用していましたが、今では麦わらや太陽熱が多く使われています。デンマークは「第4世代地域熱供給」(4DH)の唱道者で、その温熱利用はEUの温熱政策「EU熱ロードマップ」のモデルになっていて周辺諸国にも広まりつつあります。

デンマークの自然エネルギーの導入率は既に40%(1次エネルギー比)を超えています。1972年のオイルショックの時にはデンマークも日本同様中東からの石油に9割以上依存していました。人口400万人ほどの「小国」であるデンマークに、私たちはどこで差をつけられてしまったのでしょうか？

デンマークのエネルギーシフトには、市民、研究者、民間企業、行政、議員がそれぞれの立場で欠かせない役割を果たしました。Vestas社(風力発電機の世界的メーカー)に代表される市民が一から作り上げた自然エネルギー産業、企業による技術開発と企業群の発達、研究者達が描いたエネルギービジョン、そして適切な政策誘導、これらが相まって現在のデンマークのエネルギー事情が成り立っています。

私たちはアンデルセン童話の国から、現代の「おとぎ話」を学ぶことができます。

今回のツアーでは、「第4世代地域熱供給国際会議」(4DH)が開催される機会を利用して、デンマークのエネルギーシフトで重要な役割を果たした温熱について、生産から供給、利用までの現場を視察しつつ、制度、政策、技術、社会の各観点から理解を深めます。また、デンマークの先進的取組みと協働を希望する市民、企業、研究者、自治体の方々を結びつける場も設けます。



2019/3
デンマーク大使館
環境エネルギー政策研究所

再生可能エネルギーの温熱利用および地域熱供給に関するデンマーク視察のご案内
(第4世代地域熱供給国際会議の参加も兼ねて)

デンマーク大使館と環境エネルギー政策研究所（ISEP）では、2014年からバイオマス等による再生可能エネルギーの温熱利用や地域熱供給に関わるデンマークへの業務視察を企画し、自治体・企業・大学・市民など多くの方々にご参加いただき実施してきました。

本年も、第4世代地域熱供給国際会議の機会に、バイオマス活用、熱供給、地域熱供給に関する視察を実施する方向で、実施概要は下記の通りとなります。参加人数に限りがあり、ご興味のある方は下記まで早めに関心表明をご連絡ください。詳細が決まり次第ご連絡させていただきます。

■予定日程：

2019年9月8日（もしくは9日）～13日
（もしくは14日） ※現地視察3～4日間

■費用（見込）：

240,000円程度

* 上記には次のものが含まれます。

- デンマーク国内移動費、
- デンマーク国内宿泊費、
- 通訳・旅行コーディネーター料

* 別途、国際会議参加費を要します
(晩餐会込み約5万円、3000DKK)



■連絡先：ISEP 田島（担当）

tajima_makoto@isep.or.jp; (03) 3355-2200

■日程（仮）：※視察内容は変更になりますのであくまでも目安としてご参照下さい。

日付	視察先・内容（視察・訪問先は過去の例）
9月8日(日)	デンマーク着（現地集合）
9月9日(月)	コペンハーゲン周辺視察 ・ State of Green-デンマークの再生可能エネルギー全般の紹介 ・ DBDH デンマーク熱供給協会- 地域熱供給全般の紹介 ・ 大規模地域熱供給システム（含む第4世代地域熱供給導入済みの地域熱供給）
9月10日(火)	第4世代地域熱供給国際会議「5th International Conference on Smart Energy
9月11日(水)	Systems and 4th Generation District Heating」への参加 https://smartenergysystems.eu/ （夕方にオールボーに移動）
9月12日(木)	オールボー周辺視察とセミナー
9月13日(金)	・ House of Energy-でのセミナー ※熱供給事業者、研究者、熱供給関連企業の産業クラスター ・ 中小規模地域熱供給システム ・ 木質チップ・ペレット、ワラを活用したボイラー ・ 太陽熱収集、蓄熱槽 ・ 熱利用を含めたエネルギー・マネージメント・システム、断熱パイプ、スマート熱メーターなどの周辺技術
9月14日(土)	帰国（現地解散）